

グループホーム うわばら

ホーム全体の理念「和我家」、さくらユニットの理念「しあわせづくり」、うめユニットの理念「十人十色」、それぞれの理念の実現を目指して、暖かみのある日々の生活を入居者と職員とが一緒になり作っていきます。

1. サービスの質の向上

- (1) 入居者個人の尊厳を守り、一人の「人」として関わり、利用者の「しあわせづくり」「十人十色」を常に念頭に置いて行動していきます。
- (2) 認知症ケアの専門職としての基本的なケアや知識を身につける為、各種研修に参加しサービスの質の確保に努めます。
- (3) 職場内において毎月ユニット会を開催し、その人に合った個別ケアの推進に努めると共に、職員のケアの標準化や新しい知識の勉強会を行っていきます。
- (4) 専門職として対人援助技術を身につけ、適切な態度・言葉使いに配慮します。
- (5) 入居者の趣味、特技を生かした余暇の充実を図り、生活に潤いを持たす工夫をします。
- (6) より客観的な視点で第三者評価機関によるサービスの質の評価を実施し、サービスの見直しや改善を随時行っていきます。

2. 生活環境の整備と安全・安心の暮らし

- (1) 一人一人のこれまでの生活リズムにあった生活環境を整え、安心してその人らしい生活が送れるよう配慮し、ホーム全体の生活の流れを大切にしていきます。
- (2) 日頃より協力医療機関や協力施設との連携や情報交換を密に行い、緊急時などスムーズな連携を図り、適切な介護・医療が受けられるよう体制を整備します。
- (3) 感染症や事故防止のため、ユニット会にて十分な検討や分析を行い、職員の意識統一を図り、安全・安心の暮らしが送れるよう取り組んでいきます。
- (4) ホームで看取り介護を希望された場合、本人の意志や家族の意向を尊重し、看取り介護の方針を十分に説明し、理解して頂けるよう努めます。人間らしい、暖かな最期の時を迎える事が出来るように、家族や職員が一丸となって支援していきます。
病院や自宅での最期を希望される方には、出来るだけの援助を行い、家族の支えとなれるよう努めていきます。

3. 家族及び地域住民との連携

- (1) 入居者が自宅を離れても家族と継続的な繋がりが保てるよう、家族のホームへの面会や各種行事への積極的な参加を促し、家族関係の絆を大切にしていきます。
- (2) 入居者のホームでの生活状況を家族に面会時等で定期的に報告し、継続して情報を発信することで、家族との信頼関係を築き、気軽に立ち寄れるアットホームな環境を作り努めます。
- (3) 入居者も地域住民の1人であることを認識して、地域住民として参加できる活動や行事への参加を促進していく。